



千葉地裁 (齊藤頭 裁判長) は市東さんの農地=命を奪うな!



## 9・30 耕作権裁判 (最終弁論) & 千葉地裁デモに集まろう!

耕作権裁判の開廷に先立ち千葉市内デモ (7月8日)

成田空港会社(NAA)が成田市天神峰で農業を営む市東孝雄さんを「不法耕作者」呼ばわりし、2006年に南台農地の一部の明け渡しを求め提訴した耕作権裁判が9月30日で最終弁論を迎えます。

一審で18年もの歳月をかけてはっきりしたことは、NAAに市東さんの農地の明け渡しを求める権利は1ミリたりともないと

いうことです。耕作者に秘密裏に行った農地「買収」の違法、地主と公団(現NAA)の交渉記録等が一つもないというデータ、署名・印鑑の偽造…。NAAは裁判所に任せれば大丈夫と高をくくっていますが、そんなことは絶対に許されません。

裁判に先立ち千葉地裁包囲デモを行います。ぜひご参加ください。

### 市東さんの南台農地を守ろう!

### 耕作権裁判 & 千葉地裁包囲デモ

◎ 9月30日(月) 正午 千葉市中央公園集合 → 千葉市内をデモ

午後1時30分 開廷 千葉地裁 601号法廷 最終弁論

# 滑走路閉鎖の事故続発！ 安全軽視の成田の更なる貨物・兵たん基地化許すな！

飛行機のタイヤが破損し、成田空港の滑走路を一時閉鎖する事故が3日連続で起きています。

8月11日午後5時過ぎ、成田発アゼルバイジャン行きの貨物航空会社シルクウェイウエスト航空904便ボーイング747-400型機が離陸滑走後、3つのタイヤが破裂し、離陸を中止しました。タイヤから煙が出たため消防車が駆けつけ、車輪を冷やすために放水が行われました(写真)。約1時間半、A滑走路が閉鎖となりました。

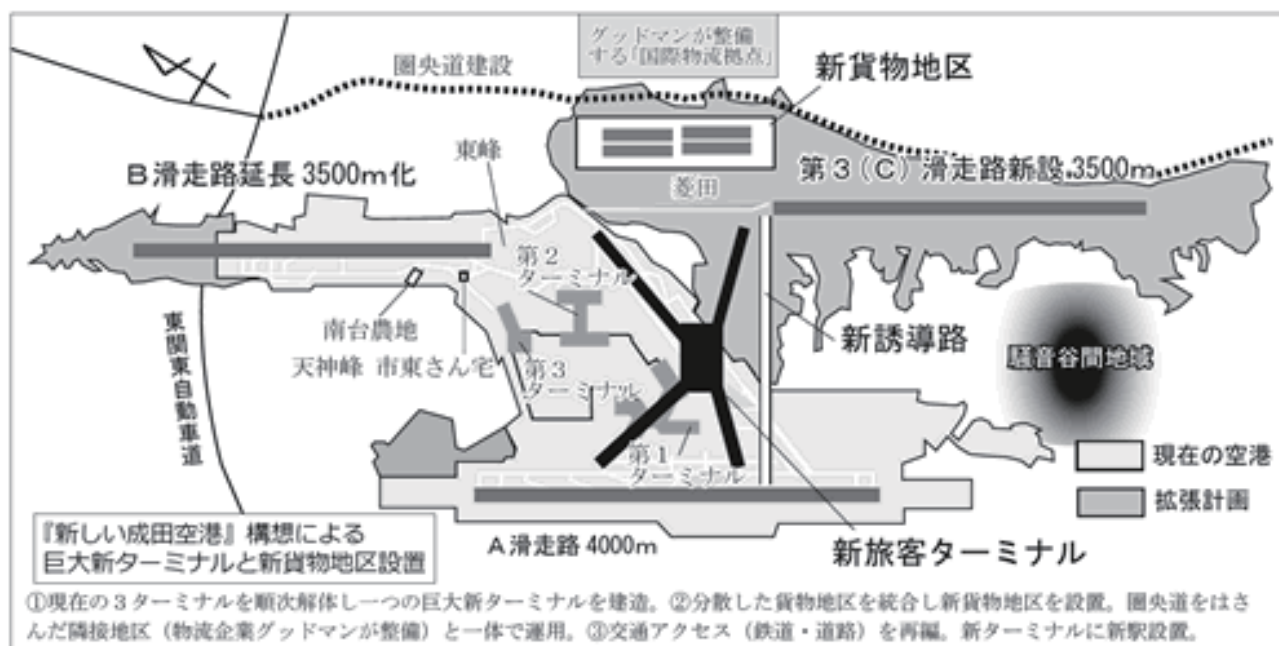
12日午前7時半過ぎ、シンガポール航空638便ボーイング787型機が着陸後、「左側のエンジンから白煙が出ている」として消防車が出動。約50分間、B滑走路を閉鎖し点検したところ、機体からはがれたと見られるタイヤ片が見つかりました。

13日午前1時10分頃、成田発ロサンゼルス行き米アトラス航空71



06便ボーイング747貨物機が、油圧系統の不具合で成田に引き返し緊急着陸しました。タイヤの破損とホイール損傷、胴体下部にへこみや亀裂が見つかり、約7時間、A滑走路を閉鎖しました。国交省運輸安全委員会は14日、貨物機の大修理を要する航空事故と認定し、調査官を派遣しました。

3件の事故のうち2件が貨物機で、数多くの事故を引き起こしてきた大型のボーイング747型機です。安全軽視で更なる成田の貨物・兵たん基地化を進める「新しい成田空港」構想を粉碎しましょう。





# 佐賀空港へのオスプレイ配備反対！ 陸自・佐賀駐屯地建設工事を許さない

佐賀空港（佐賀市川副町）へのオスプレイ配備に向けた陸上自衛隊駐屯地建設工事に反対する座り込み抗議行動が8月19日、「オスプレイストップ！ 9条実施アクション佐賀」の呼びかけで行われました。抗議行動は4つある車両搬入ゲート前で警察、警備員の妨害をはねのけ、午前9時から午後5時まで行われました。（写真）

佐賀空港は現在、軍事には使わないという地元漁業者との協定を踏みにじり、木更津駐屯地に暫定配備中のオスプレイ17機と目達原（めたばる）基地のへり50機を受け入れるための駐屯地建設工事が、地権者の同意を得ることなく違法に強行されています。米・海兵隊と同じ殴り込み部隊である陸自・水陸起動団の拠点として佐賀空港は位置づけられ、滑走路の延伸計画も進められています。佐賀空港の軍事空港化と闘う人々と固く団結し、成田の軍事基地化を絶対に阻止しましょう。



**B 滑走路北延伸阻止！ 第3滑走路建設粉碎！**

**「空港機能強化」**

◎8月28日（水）

**現地フィールドワーク** 午前10時 市東さん宅前集合

**成田空港の機能強化工事を今すぐ止めろ！**

**空港拡張差し止め裁判** ◎9月13日（金）

午後2時30分開廷 千葉地裁

# 地域住民の声

今回は、子どもが泣くほどの騒音で同居をあきらめざるをえなくなった稲敷市の住民。横芝光町で開かれた航空機騒音による健康リスクに関する講演会に参加した芝山町の住民の声を紹介します。

## ◆長男家族が騒音のために家を出ていった。空港がなければ毎日孫と遊べたはず。 稲敷市 男性

私は飛行機の音に非常に神経が逆立ってられ、耳鳴りも強くなり、飛び終わった後でもなかなか眠りにつくことができず。毎日、11時40分頃に飛行機が飛び終わるのですが、眠りにつけるのは2時前後になってしまいます。朝は6時から飛行機が飛び、その頃には目が覚めます。私は、毎日が不眠に悩まされ、毎日が体が重く感じるようになっていきます。

騒音を長く浴びていると、病気になる人がいると聞きました。事実、私は5年ほど前に心房細動になり、心臓の手術をしました。また2年半前にがんになり、抗がん剤の治療も行いました。

私の長男は妻と子どもと一緒に私と同居していたのですが、「騒音でうるさい土地よりも静かな環境で子どもを育てたい」と言って、子どもたちをつれ、4年前に家を出て行ってしまいました。子どもが寝ていても、飛行機の騒音で目を覚まして

泣いてしまうからです。時々、遊びに来る孫は、飛行機の音を聞くと、「戦車みたいな音がする」と言って怖がっています。空港がなかったら、今頃は毎日孫と遊ぶことができたでしょう。

私たちに、生きていく権利はあるはずで。人として健康に生きていくためには、8時間の静穏時間は絶対に必要ではないでしょうか。私の人生はあと少しだけしか残っていません。残り少ない余生を、夜だけは静かに寝かせてはいただけないでしょうか。

## ◆「航空機騒音から健康を守る」講演会に参加。夜間騒音の勧告値は40dB（図書館）。 芝山町 男性

8月17日、横芝光町町民会館大ホールで開かれた「航空機騒音から健康を守る」講演会に参加しました。「成田空港周辺の航空機騒音と健康リスクいまと将来」と題する演題で、講師は、北海道大学大学院助教の田鎖順太先生です。

講演の中で私が驚いたのは、WHO（世界保健機関）の最新の欧州夜間騒音ガイドラインでは夜間航空機騒音の勧告値は40dB（図書館の中）ということです。騒音コンターは平均値に過ぎないから注意が必要で、平均騒音レベルが40dBであっても10%以上の住民が睡眠妨害を受けることが調査で示されたのです。夜間飛行は中止以外ありません。住民から「夜の飛行だけは何とかしてほしい」という意見も出ました。有意義な集会で大変勉強になりました。